

3

電話をかける・受ける

電話	3-2
電話について	3-2
音声電話	3-4
音声電話を利用する	3-4
電話の留守録を利用する	3-5
テレビ電話（TVコール）	3-7
テレビ電話を利用する	3-7
通話履歴	3-8
発着信履歴を確認する	3-8
オプションサービス	3-9
オプションサービスを利用する	3-9
便利な機能	3-12

電話について

本機では、音声電話とテレビ電話が利用できます。

3

電話をかける・受ける

音声電話

他社携帯電話・一般電話ともお話できます



ソフトバンク
携帯電話

他社携帯電話

一般電話

転送電話や留守番電話など、便利なオプションサービスが利用可能

テレビ電話 (TV コール)

お互いの映像を見ながらお話できます



ソフトバンク
携帯電話

他社携帯電話

テレビ電話対応
の携帯電話のみ



国際電話

海外との通話

音声電話／テレビ電話をかけたり、受けたりすることができます。

世界対応
ケータイ

海外での利用

本機は世界対応ケータイ非対応です。
海外ではお使いいただけません。

自分の電話番号を確認する

1 ☎️ ⇒ 「自分の電話番号を見る」 ⇒ ☎️



自分の番号画面

- 複数の電話番号やEメールアドレスを登録している場合など、詳細な情報を見る場合は☎️を押します。
- 音声／テレビ電話通話中に確認する場合は、以下の操作を行います。
通話中 ⇒ ☎️ ⇒ 「自分の番号」 ⇒ ☎️

緊急通報について

操作規制中や発着信規制設定中でも、110番（警察）、119番（消防・救急）、118番（海上保安本部）へは発信することができます。

- テレビ電話で緊急通報した場合は、音声通話となります。

緊急通報位置通知について

「緊急通報位置通知」とは、本機から緊急通報を行った場合、発信した際の位置の情報を緊急通報受理機関（警察など）に対して通知するシステムです。

通知する位置情報は基地局情報*とGPS測位情報があります。本機はGPS測位に対応しているため、発信場所などによってGPS測位機能が利用できる場合は、GPS測位情報を通知します。本機が通知したGPS測位情報は、位置履歴に残ります。

*基地局情報の精度は、数100m～10km程度となります。また、実際の位置とは異なった位置情報が通知される場合があります（遠方の基地局電波を受信した場合など）。

- GPS測位情報を通知した場合は、測位情報が位置履歴（7-15ページ）に保存されます。
- 発信場所や電波の受信状況により、正確な位置が通知されないことがあります。緊急通報受理機関に対して、必ず口頭で発信場所や目標物をお伝えください。
- 「緊急通報位置通知」機能は、接続先となる緊急通報受理機関が、位置情報を受信できるシステムを導入した後にご利用いただけるようになります。
- 「184」を付けて、「110」、「118」、「119」の緊急通報番号をダイヤルした場合などは、緊急通報受理機関に位置情報は通知されません。ただし、緊急通報受理機関が人の生命などに差し迫った危険があると判断した場合には、同機関が発信者の位置情報を取得する場合があります。
- 申込料金、通信料は一切ありません。

使いこなしチェック！

💡 便利

自分の番号に関する機能

(▶ 3-12ページ)

- 自分の番号を編集／削除したい

3

電話をかける・受ける

音声電話を利用する

音声電話をかける

日本国内で音声電話をかける操作を説明します。

1 電話番号を入力

- 一般電話へかける場合は、同一市内でも、必ず市外局番から入力してください。
- 間違えて入力したときは **[戻る]** を押し、右端から1桁ずつ消去できます。また、**[戻る]** を長く（1秒以上）押すか、**[戻る]** で待受画面に戻ることができます。
- 電話帳から電話をかける方法については、2-12ページを参照してください。



ダイヤル画面

2



音声電話通話中画面

- 通話中に **[音量]** または **[音量]** を押し、受話音量を調節できます。

3 通話が終わったら、**[通話終了]** を押し

- 本機の通信用アンテナは本体に内蔵されているため、アンテナの突起がありません。内蔵アンテナ部分（1-3ページ）を手で触れたり覆ったりすると電波感度が弱まる場合があります。特に、内蔵アンテナ部分にシールなどを貼らないでください。電波感度が弱まると、発着信、メールの送受信、ウェブの接続ができなくなる場合があります。
- 本機の向きや位置によって通話品質が変わることがあります。

音声電話を受ける

1 電話がかかってきたら、**[通話]** を押し

- 着信中に **[音量]** または **[音量]** を押し、着信音量を調節できます。

2 通話が終わったら、**[通話終了]** を押し

自宅ボタンで電話をかける

自宅ボタンに登録した自宅に電話をかけます。

1 **[自宅]** を押し待受け画面を表示

2 **[発信]**

- **[発信]** を押し、ただちに発信されます。

3 通話が終わったら、**[通話終了]** を押し

ワンタッチダイヤルで電話をかける

ワンタッチダイヤルに登録した相手に電話をかけます。

1 **[自宅]** を押し待受画面を表示

2 ① / ② / ③

3 「電話をかける」

4 通話が終わったら、**[通話終了]** を押し

国際電話をかける

国際電話をかけるとき、相手の電話番号を入力したあとで、国際コード（ソフトバンクの国際電話専用ダイヤル「010」）と国番号リストから選択した国番号を付加して電話をかけることができます。

- 本機は世界対応ケータイに対応していないため、海外ではご利用になれません。

1 010+国番号+電話番号*を入力

※ 相手先の電話番号が「0」で始まる場合は、「0」を除いて押してください(ただし、イタリアの一般電話にかける場合は、「0」が必要です)。

2

3 通話が終わったら、を押す

詳しくは最寄りのソフトバンクショップまたはお問い合わせ先(10-26ページ)までご連絡ください。

電話の留守録を利用する

1 ⇒「設定をする」⇒⇒
「留守番電話と割込通話」⇒

2 「電話の留守録を設定・再生する」⇒
⇒「留守番電話を設定する」⇒

3 「設定する」⇒ (2回)
電話に出られなかったとき、応答メッセージが再生されたあと録音が始まります。

- 録音可能時間が経過するか、通話が終了すると自動的に停止します。
- 電話の留守録を解除するには、「設定しない」を選択します。
- 着信中に電話の留守録を設定する場合は、以下の操作を行います。
⇒「留守番電話」⇒

- テレビ電話や割込通話では電話の留守録を使用できません。
- 録音されたメッセージが5件になると録音できません。メッセージを削除してください (3-14ページ)。

録音されたメッセージを再生する

1 ⇒「電話の留守録」⇒⇒
メッセージを選択⇒



使いこなしチェック！

便利

音声電話／テレビ電話発信時の機能

(▶ 3-12ページ)

- 以前かけた電話番号にもう一度かけたい
- 以前かけてきた相手にかけ直したい
- 出られなかった着信にかけたい
- 電話番号の通知／非通知を指定してかけたい
- 電話番号の通知／非通知を事前に設定したい

音声電話／テレビ電話着信時の機能

(▶ 3-13ページ)

- かかってきた電話を拒否したい
- かかってきた電話を保留にしたい
- イヤホンマイクで電話を受けたい

音声電話／テレビ電話通話時の機能

(▶ 3-13ページ)

- こちらの音声を聞こえないようにしたい
- 音声電話通話時の機能 (▶ 3-13ページ)
- 通話中にブッシュトーンを送りたい
 - 相手の声をスピーカーで出力したい

電話の留守録に関する機能(▶ 3-14ページ)

- 録音されたメッセージを削除したい

設定

音・バイブレーターに関する設定

(▶ 9-5ページ)

- 着信音を設定する
- 着信音量を設定する
- メール受信時の鳴動時間を設定する
- バイブレーターを設定する
- 通話中の音量を設定する
- ボタン音の音量を設定する

電話の留守録に関する設定(▶ 9-4ページ)

- 電話の留守録の応答時間を設定する

テレビ電話を利用する

本機ではテレビ電話を利用できます。テレビ電話とは、テレビ電話対応機どうしで、相手の表情を見ながら通話できる機能です。通話中にメインカメラとサブカメラを切り替えたり、撮影中の画像の代わりに静止画を送信することもできます。

テレビ電話をかける

- 1 電話番号を入力し、 → 「テレビ電話」



テレビ電話通話中画面

- マナーモードの設定中は、相手を出す前に、音声をスピーカーに切り替えるかどうか確認する画面が表示されます。以下の操作を行ってください。「切り替える」/「切り替えない」
- 通話中に/を押して、受話音量を調節できます。

- 2 通話が終わったら、を押す

テレビ電話通話中のアイコン

- ：テレビ電話通話中
- ：私の音声消音中
- ：スピーカーで音声出力中

テレビ電話を受ける

- 1 テレビ電話がかかってきたら、を押す
カメラ映像を送信するかどうかの確認画面が表示され、テレビ電話がつながります。カメラ映像を送信する場合は、「送信する」を選択しを押します。

- 2 通話が終わったら、を押す

ワンタッチダイヤルでテレビ電話をかける

ワンタッチダイヤルに登録した相手にテレビ電話をかけます。

- 1 を押して待受画面を表示
- 2 ①/②/③
- 3 「テレビ電話」
- 4 通話が終わったら、を押す

使いこなしチェック！

便利

音声電話／テレビ電話発信時の機能

(▶ 3-12ページ)

- 以前かけた電話番号にもう一度かけたい
- 以前かけてきた相手にかけ直したい
- 出られなかった着信にかけたい
- 電話番号の通知／非通知を指定してかけたい
- 電話番号の通知／非通知を事前に設定したい

音声電話／テレビ電話着信時の機能

(▶ 3-13ページ)

- かかってきた電話を拒否したい
- かかってきた電話を保留にしたい
- イヤホンマイクで電話を受けたい

音声電話／テレビ電話通話時の機能

(▶ 3-13ページ)

- こちらの音声を聞こえないようにしたい
- #### テレビ電話通話時の機能 (▶ 3-14ページ)
- 送信画像をズームアップして送りたい
 - 通話中にメインカメラとサブカメラを切り替えたい
 - カメラ画像の代わりに代替画像を送信したい
 - 相手の声の出力先を切り替えたい

設定

音・バイブレーターに関する設定

(▶ 9-5ページ)

- 着信音を設定する
- 着信音量を設定する
- メール受信時の鳴動時間を設定する
- バイブレーターを設定する
- 通話中の音量を設定する
- ボタン音の音量を設定する

発着信履歴を確認する

1  / 



履歴表示画面

使いこなしチェック!

 便利

発着信履歴に関する機能 (▶ 3-14ページ)

- 通話履歴を削除したい

オプションサービスを利用する

- オプションサービスについてはサービスガイド (3G) をご覧ください。
- 電波の届かない場所では、本機からは操作できません。

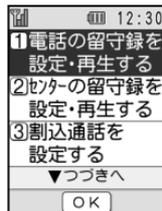
転送電話サービス	かかってきた電話を指定した電話番号に転送します。
留守番電話サービス	電波の届かない場所や通話中のため電話にでられないときなどに、留守番電話センターで伝言をお預かりします (3-10ページ)。
割込通話サービス*	今まで話していた相手との通話を保留にし、かかってきた電話を受けることができます (3-15ページ)。
発信者番号通知サービス	自分の番号を相手に通知することができます。

*割込通話サービスをご利用になるには、別途お申し込みが必要です。詳しくは、お問い合わせ先 (10-26ページ) までご連絡ください。

転送電話サービスを開始する

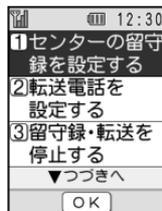
例：電話帳に登録している電話番号に、「呼出あり」で転送する場合

- 1 → 「設定をする」 → → 「留守番電話と割込通話」 →



通話サービス設定画面

- 2 「センターの留守録を設定・再生する」



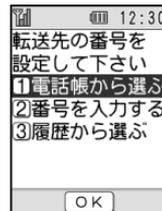
留守番・転送画面

- 3 「転送電話を設定する」 →

- 4 「呼出あり」 → → 応答時間を選択



- 着信音を鳴らさずに転送先に転送する場合は、「呼出なし」を選択します。

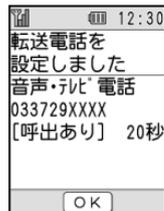


- 5 「電話帳から選ぶ」 → → 相手を選択



- 電話番号を直接入力して登録する場合は、以下の操作を行います。「番号を入力する」 → → 電話番号を入力 → (2回)
- 通話履歴から登録する場合は、以下の操作を行います。「履歴から選ぶ」 → → 「かけた履歴」/「受けた履歴」/「不在着信の履歴」 → → 相手を選択 → (2回)

6 ネットワークに接続



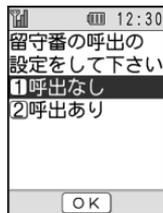
7

留守番電話サービスを開始する

例：「呼出あり」で留守番電話サービスを利用する場合

1 留守番・転送画面で「センターの留守録を設定する」

2 「センターの留守録を使う」

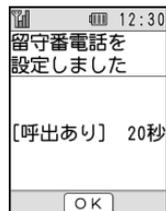


3 「呼出あり」 → → 応答時間を選択



- 着信音を鳴らさずに留守番電話サービスに接続する場合は、「呼出なし」を選択します。

4 ネットワークに接続



5

- 留守番電話サービスと転送電話サービスを同時に利用することはできません。
- すでに転送電話サービスが開始されているときに、留守番電話サービスを開始すると、転送電話サービスは停止されます。ただし、テレビ電話の転送は停止されません。
- 留守番電話サービス／転送電話サービス開始後の着信について
着信音が鳴っている間にを押すと、そのまま通話できます。「呼出なし」にしている場合は着信は行われず、留守番電話センターや転送先へ転送されます。
- 留守番電話サービスの機能について
留守番電話サービスには、応答メッセージの録音や不在案内メッセージの利用など、いろいろな機能があります。詳しくは、サービスガイド(3G)をご覧ください。

着信お知らせ機能

留守番電話の設定中に電波の届かない場所や、電源が入っていなかったために受けられなかった着信をお知らせ画面でお知らせします。また、通話中に留守番電話センターで伝言メッセージをお預かりした場合もお知らせします。

1 「1414」を入力

- 以降の操作は、音声ガイダンスに従ってください。

伝言メッセージを聞く

- 留守番・転送画面で「センターの留守録を設定する」→→
「留守番センターの録音を聞く」

転送電話サービス・留守番電話サービスを停止する

1 留守番・転送画面で「留守録・転送を停止する」→ (2回)

- 転送電話サービスと留守番電話サービスの両方を停止します。
- 転送電話サービスと留守番電話サービスを停止している場合は、以下の操作で着信を拒否します。
音声電話着信中／テレビ電話着信中→
「転送する」

使いこなしチェック！

便利

オプションサービスに関する機能

(▶ 3-14ページ)

- オプションサービスの設定状況を確認したい
- 割込通話サービスを設定したい
- 通話中にかかってきた電話を受けたい
- 通話の相手を切り替えたい

3

電話をかける・受ける

電話に関する便利な機能

開始画面はココ! → **自分の番号画面** P.3-3

ダイヤル画面 P.3-4

音声電話通話中画面 P.3-4

テレビ電話通話中画面 P.3-7

自分の番号に関する機能

自分の番号を編集／削除したい
【自分の番号編集／削除】

■自分の番号を編集する

自分の番号画面 → 項目を選択 → 「編集する」 → 情報を入力 →

■入力項目を削除する

自分の番号画面 → 項目を選択 → 「内容を消す」 →

- 本機の電話番号（一番上に登録されている電話番号）は編集や削除ができません。

音声電話／テレビ電話発信時の機能

以前かけた電話番号にもう一度かけたい
【発信履歴】

相手を選択 → 通話が終わったら、

- テレビ電話をかける場合は、相手を選択したあと以下の操作を行います。
「テレビ電話」 →

以前かけてきた相手にかけ直したい
【着信履歴】

相手を選択 → 通話が終わったら、

- テレビ電話をかける場合は、相手を選択したあと以下の操作を行います。
「テレビ電話」 →

出られなかった着信にかけたい
【不在着信履歴】

「不在着信」 → 相手を選択 → 通話が終わったら、

電話番号の通知／非通知を指定してかけたい
【番号通知／非通知】

ダイヤル画面 → 「番号非通知」／「番号通知」 →

電話番号の通知／非通知を事前に設定したい
【発信者番号通知設定】

「設定をする」 → 「重要な設定をする」 → 「機能・操作を制限する」 → 「発信者番号の通知を設定する」 → 「相手に通知する」／「通知しない」 (2回)

- 番号の通知設定には以下の方法があり、これらを同時に設定または操作した場合、①～③の優先順位で番号通知動作が行われます。

- ① **ダイヤル画面** → 「番号非通知」／「番号通知」を選択した場合
- ② 発信者番号通知の設定内容
- ③ 発信者番号通知サービスのお申し込み内容

音声電話／テレビ電話着信時の機能

かかってきた電話を拒否したい

【着信拒否】

電話がかかってきたら、⇒「着信拒否する」
⇒

かかってきた電話を保留にしたい

【応答保留】

電話／テレビ電話がかかってきたら、

- 応答保留中でも電話／テレビ電話をかけてきた相手には通話料金ががかかります。
- 応答保留中の通話に出る場合は、またはを押します。
- 応答保留中の通話を終了する場合は、を押します。

イヤホンマイクで電話を受けたい

【イヤホンマイク応答】

イヤホンマイク接続プラグをイヤホンマイク端子に差し込む⇒電話がかかってきたら、マイクのスイッチを長く(1秒以上)押す⇒通話が終わったら、マイクのスイッチを長く(1秒以上)押す

- を押しても電話が切れます。
- イヤホンマイクでテレビ電話を受けると、代替画像が送信されます。

音声電話／テレビ電話通話時の機能

こちらの音声を聞こえないようにしたい

【消音】

音声電話通話中画面／テレビ電話通話中画面 ⇒「私の音声消音」⇒

- 通話中に消音を解除する場合は、を押します。

音声電話通話時の機能

通話中にプッシュトーンを送りたい

【プッシュトーン送信】

■プッシュトーンを1つずつ送る

音声電話通話中画面 ～、、のいずれかのボタンを押す

相手の声をスピーカーで出力したい

【音声切替】

音声電話通話中画面 ⇒「スピーカーで聞く」⇒

- を押すと元に戻ります。

テレビ電話通話時の機能

送信画像をズームアップして送りたい
【ズーム】

テレビ電話通話中画面 

通話中にメインカメラとサブカメラを切り
替えたい
【カメラ切替】

テレビ電話通話中画面  → 「カメラ切替」 →


カメラ画像の代わりに代替画像を送信したい
【代替画像】

テレビ電話通話中画面  → 「画像を送る」 →


相手の声の出力先を切り替えたい
【音声切替】

テレビ電話通話中画面 
●再度  を押すと元に戻ります。

電話の留守録に関する機能

録音されたメッセージを削除したい
【録音メッセージ削除】

 → 「電話の留守録」 →  → メッセージを
選択 →  → 「削除する」 →  → 「削除する」
→  (2回)

発着信履歴に関する機能

開始画面はココ! →  履歴表示画面 P.3-8

通話履歴を削除したい
【1件削除／全件削除】

■ 1件削除する

履歴表示画面 履歴を選択 →  → 「削除する」 →
 → 「1件削除する」 →  → 「削除する」 →
 (2回)

■ 全件削除する

履歴表示画面  → 「削除する」 →  → 「全て
削除する」 →  → 操作用暗証番号を入力 →
「削除する」 →  (2回)

オプションサービスに関する機能

開始画面はココ! →  音声電話通話中画面 P.3-4
 通話サービス設定画面 P.3-9
 留守番・転送画面 P.3-9

オプションサービス設定確認

オプションサービスの設定状況を確認したい
【設定確認】

■ 転送電話サービス・留守番電話サービスを 確認する

留守番・転送画面 「留守録・転送の設定を確認す
る」 → 

■ 割込通話サービスを 確認する

通話サービス設定画面 「割込通話を設定する」 →
 → 「設定を確認する」 → 

割込通話サービス

割込通話サービスを設定したい

【割込通話サービスON/OFF】

通話サービス設定画面「割込通話を設定する」→

☑→「設定する」/「設定しない」→☑(2回)

通話中にかかってきた電話を受けたい

【割込通話着信】

通話中に割込通話着信音が聞こえる→☎→

「電話に出る」→☑

通話の相手を切り替えたい

【切替通話】

割込通話中→☎→「通話を切替る」→☑

- 上記の操作を行うたびに、通話する相手が切り替わります。
- 割込通話中に通話中の相手が電話を切ると、呼び出し音が鳴って画面に「保留中」と表示されます。☎を押すと、保留中の相手との通話になります。

3

電話をかける・受ける